

仏無冠の像

伊豆・
静岡東部の
無指定文化財

リニューアル5周年記念

10月8日(土)
—1月9日(月祝)



十一面觀音像 平安時代 三島市・長福寺蔵

2022年
10月8日(土)～1月9日(月祝)
会期中無休
開館時間 | 午前9時30分～午後4時30分 (入館は午後4時まで)
入館料 | 大人1,000円／学生500円／高校生以下無料
* 仏教館・近代館の共通券です
* 団体10名以上は10%割引

東洋と西洋の美の出あい
上原美術館
Uehara Museum of Art

上原コレクション名品選

uehara
collection

まなざしをみる

—画家とモデルの隠された視線



アンドレ・ドラン《婦人像》1934-39年頃

上原コレクション名品選

まなざし を みる

—画家とモデルの隠された視線

*uehara
collection*

ギャラリートーク 学芸員による作品解説

日時 毎月第3土曜日
近代館 10:00～／仏教館 11:00～
※所要約45分

会場 上原美術館展示室
※要入館券・予約不要
※新型コロナウイルス感染症の状況により変更となる可能性もございます。
※その他イベントについては、ホームページ・SNSをご覧ください。



- お車で 新東名高速道路 長泉沼津ICより 下田方面へ 1時間40分
- 鉄道 東京駅より特急踊り子号 バスで 2時間40分 伊豆急下田駅下車 同駅より堂ヶ島方面行バス 20分 相玉下車 徒歩15分

東洋と西洋の美の出あい

上原美術館
Uehara Museum of Art

〒413-0715 静岡県下田市宇土金341
TEL. 0558-28-1228 www.uehara-museum.or.jp

うっすらとした影の中からこちらを見つめるドラン《婦人像》。そのまなざしは、見るものに何かを語りかけるかのようです。絵の中のまなざしを辿ってみると、そこには時や場所を越えて、描かれた人との交流が生まれます。

絵画には、画家自身のまなざしも隠されています。マティス《鏡の前に立つ白いガウンを着た裸婦》は、大きな鏡の左端にキャンバスとイーゼルが映り込んでいます。それらは画家の存在を暗示し、明るい色彩の中に複雑で豊かな空間を立ち上がらせます。

一見、何の変哲もない静物画にも画家のまなざしを見ることができます。セザンヌ《ウルビノ壺のある静物》は立体感をなくすかのように静物が真正面からとらえられています。セザンヌは同じ配置のモティーフを斜め上からも描いていますが、その試みは絵画における平面と立体の関係性を問うかのようです。安井曾太郎《銀化せる鯛》も不思議な構図です。この油彩画は、一ヶ月以上描き続けて腐った鯛が「美しかった。立派な銀の彫刻の様にも見えた」と、真上から見て描かれました。

鍋木清方《みぞれ》は、樋口一葉の小説「たけくらべ」の一場面です。うつむきがちのまなざしは、大人への成長の中で揺れ動く主人公の内面をあらわすかのようです。

本展では画家やモデルのまなざしに注目して、絵画の中に広がる不思議な空間へと入っていきます。まなざしが導く豊かな絵画の世界をどうぞお楽しみください。



アンリ・マティス《鏡の前に立つ白いガウンを着た裸婦》
1920年



安井曾太郎《銀化せる鯛》 1953(昭和28)年



ポール・セザンヌ《ウルビノ壺のある静物》 1872-73年



鍋木清方《みぞれ》 1948(昭和23)年
新収蔵・初公開
© Akio Nemoto 2022 / JAA2200104

仏像ブーム、国宝ブームと言われて十数年。日本美術の人気は衰えを知りませんが、ブームの主役は国宝や重要文化財で、こうした指定文化財に多くの方の関心が集中しているようです。ところで、現在、文化財指定を受けている仏像は、過去に見いだされ、研究され、その価値が広く認知されることで、指定を受けるに至りましたが、実は今日でも日本各地には、その存在を知られることなく伝えられている貴重な文化財が多数存在しています。

上原美術館は開館以来39年にわたって継続して伊豆の仏像の調査を行い、伊豆に貴重な仏像が存在することを明らかにしてきました。その結果、文化財指定を受けた仏像もありますが、学術的な価値が高いものの、信仰上の理由などから指定を受けていないもの、評価が遅れている仏像も未だ多数にのぼります。また、当館は現在も仏像調査を継続中で、従来全く知られていなかった仏像が日々、見出されています。このような仏像は、現時点では文化財指定を受けていないものの、美術史上、あるいは地域の歴史を考えて行く上で、忘れてはならない、かけがえのない貴重な文化財です。

本展は、伊豆を中心に、静岡県の仏像・仏画の調査研究の最前線にあり続けている当館が独自の調査で見出した仏像に加え、過去に貴重な像であると評価されながら、文化財指定を受けてない、「無冠」の文化財を、厳選して展示するものです。知られざる仏像・神像の数々を是非ご覧ください。

※四面神像は11月下旬～12月10日の間、調査のため一時ご覧いただけません。
詳細はホームページ等でご確認ください。



毘沙門天像 平安時代 捩野市・光明寺



如意輪觀音像 平安時代 下田市・法雲寺



平安佛群 伊豆の国市・宗徳寺



四面神像 平安時代 捩野市・茶烟浅間神社



觀音像 鎌倉時代 河津町・林際寺

**仏無冠像の
伊豆・
静岡東部の
無指定文化財**

リニューアル5周年記念